

# 2020年1月期 決算説明会

---

株式会社 シーイーシー

2020年3月19日

- 2020年1月期 経営成績
- 2021年1月期 業績見通し



*Shape your future*

**2020年1月期**  
5050在丁月前

**經營成績**  
5050在丁月前

# 前年比較

(単位：百万円)

	2019年1月期 実績	2020年1月期実績		
			増減額	増減率
売上高	49,810	<b>51,868</b>	+2,057	+4.1%
営業利益	4,931	<b>5,933</b>	+1,002	+20.3%
営業利益率	9.9%	<b>11.4%</b>	(+1.5%)	—
経常利益	5,041	<b>6,045</b>	+1,004	+19.9%
経常利益率	10.1%	<b>11.7%</b>	(+1.5%)	—
当期純利益*	2,861	<b>3,638</b>	+777	+27.2%
当期純利益率	5.7%	<b>7.0%</b>	(+1.3%)	—

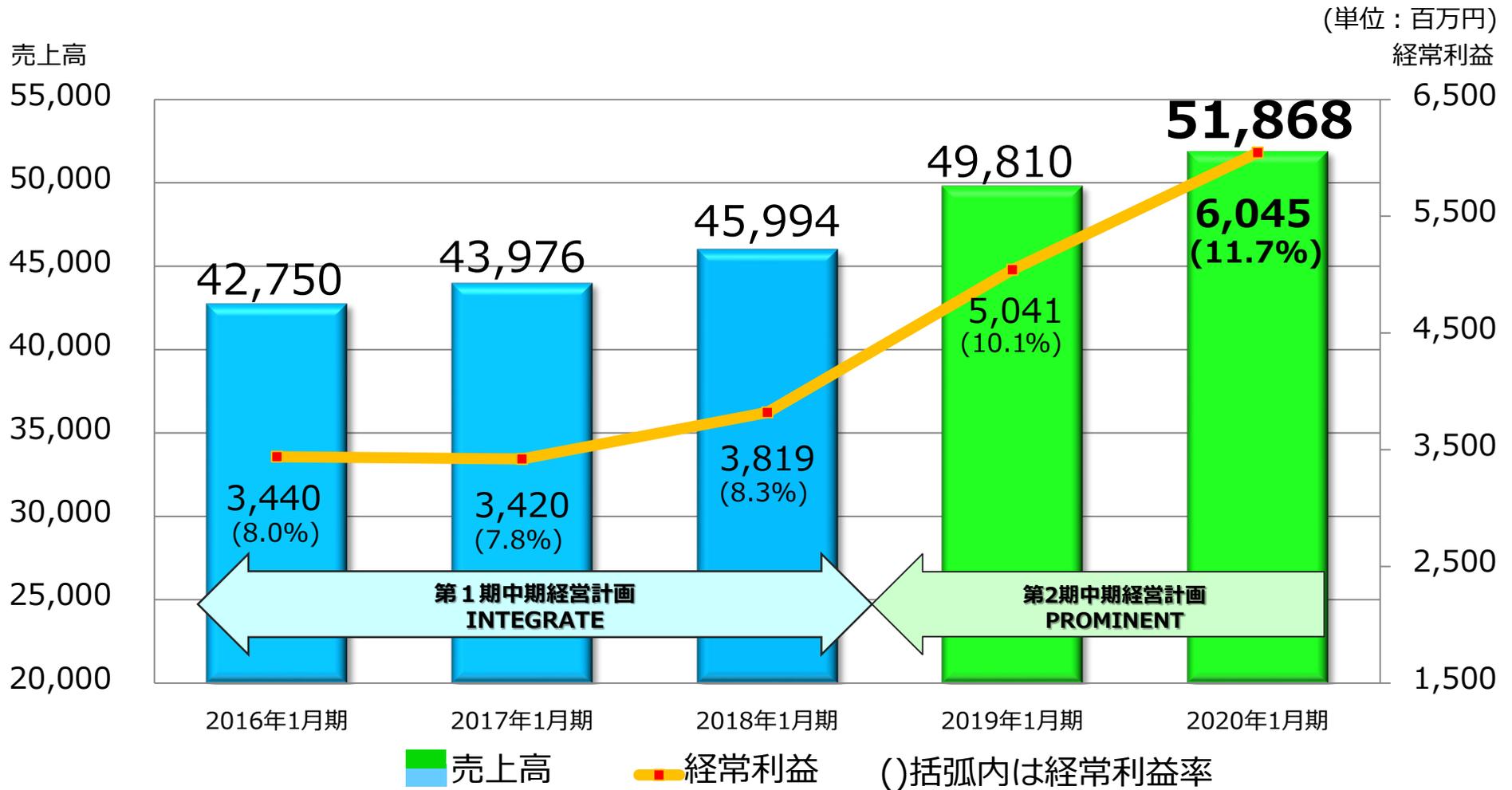
\* 「当期純利益」は「親会社株主に帰属する当期純利益」を示す。以降同じ。

# 業績予想比較

(単位：百万円)

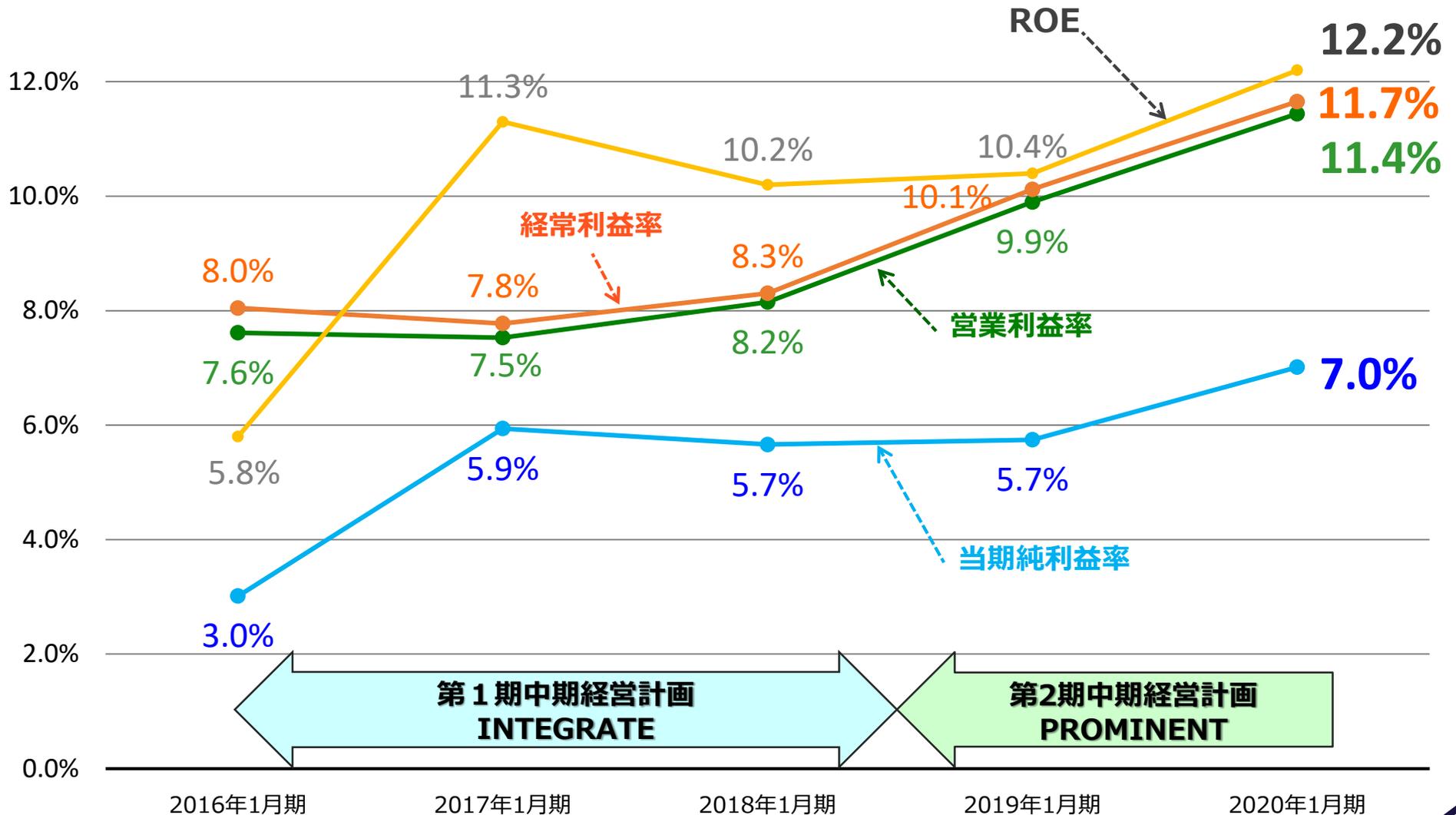
	2020年1月期 実績	2019年3月 期首予想	2019年3月 期首予想に 対する達成率	2019年9月 修正予想	2019年9月 修正予想に 対する達成率
売上高	<b>51,868</b>	51,500	100.7%	52,000	99.7%
営業利益	<b>5,933</b>	5,150	115.2%	5,750	103.2%
営業利益率	<b>11.4%</b>	10.0%	—	11.1%	—
経常利益	<b>6,045</b>	5,200	116.3%	5,800	104.2%
経常利益率	<b>11.7%</b>	10.1%	—	11.2%	—
当期純利益	<b>3,638</b>	3,500	104.0%	4,000	91.0%
当期純利益率	<b>7.0%</b>	6.8%	—	7.7%	—

# 過去5年の売上高・経常利益の推移



- ・ 第2期中期経営計画「PROMINENT」の2年目である2020年1月期は、売上高・経常利益とも好調に推移。経常利益は引き続き過去最高を更新

# 過去5年のROE・各種利益率の推移



# 事業セグメント別の前年比較

(単位：百万円)

	2019年1月期 実績		2020年1月期 実績		増減額	
	売上高	営業利益 利益率	売上高	営業利益 利益率	売上高 (増減率)	営業利益 (増減率)
デジタル インダストリー事業	16,583	3,307 19.9%	<b>17,437</b>	<b>3,818</b> 21.9%	+854 (+5.2%)	+511 (+15.5%)
サービス インテグレーション事業	33,227	5,166 15.5%	<b>34,430</b>	<b>5,447</b> 15.8%	+1,203 (+3.6%)	+280 (+5.4%)
全社費用	—	▲3,542	—	▲3,332	—	+210
合計	49,810	4,931 9.9%	<b>51,868</b>	<b>5,933</b> 11.4%	+2,057 (+4.1%)	+1,002 (+20.3%)

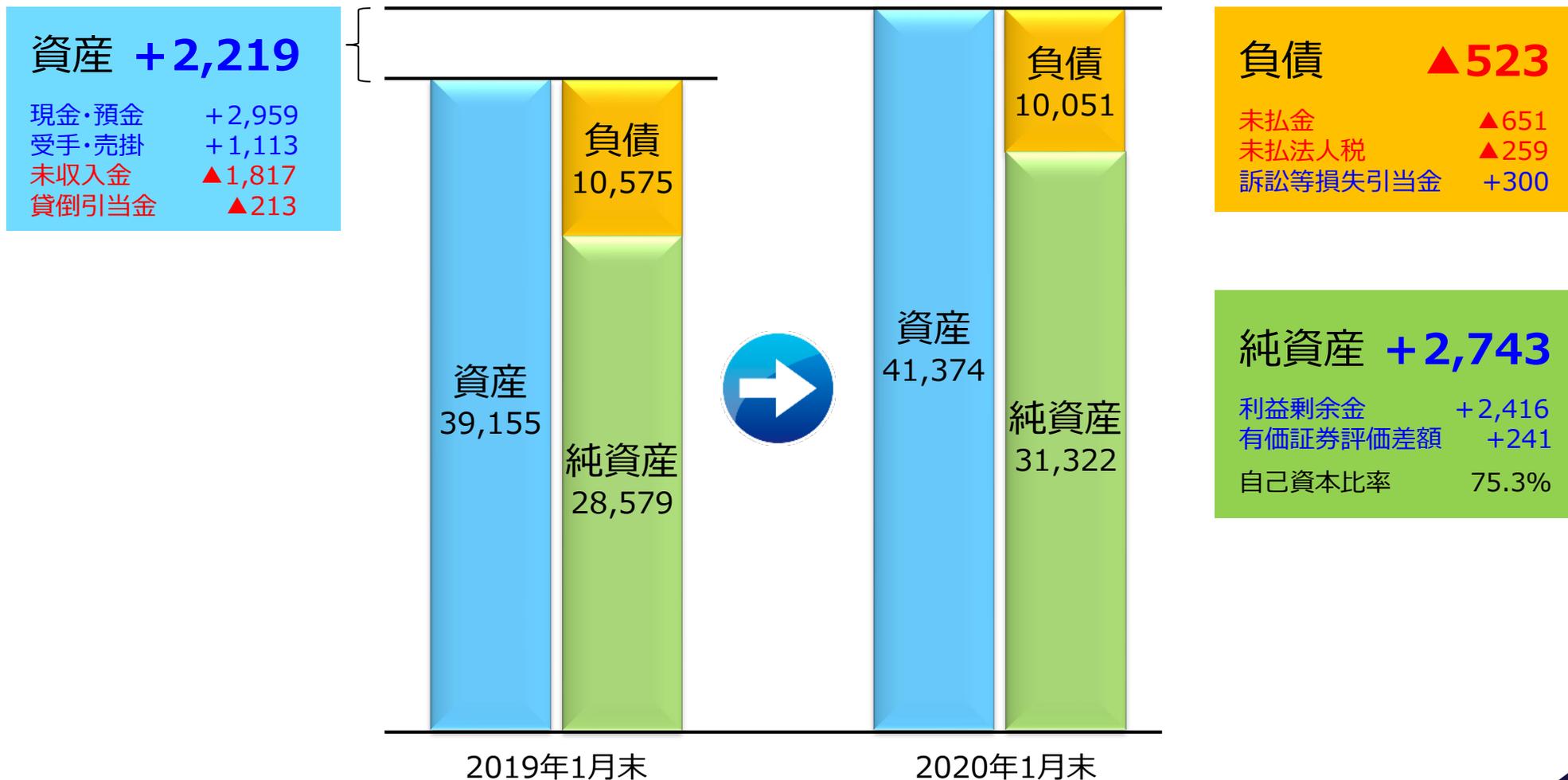
# 業種別売上高の前年比較

(単位：百万円)

	2019年 1月期	2020年 1月期	前年比		業種別のポイント
			増減額	増減率	
製 造 業 (構 成 比)	22,067 (44.3%)	<b>23,387</b> <b>(45.1%)</b>	+1,320	+6.0%	【製 造】 中部・西日本地区のシステム 開発伸長による売上の増加
通 信・情 報 業 (構 成 比)	12,025 (24.1%)	<b>11,951</b> <b>(23.0%)</b>	▲73	▲0.6%	【通信・情報/流通】 ハードウェア切替に伴う仕入 販売反動減による売上の減少
金 融 業 (構 成 比)	5,716 (11.5%)	<b>5,930</b> <b>(11.4%)</b>	+213	+3.7%	【金 融】 既存顧客の深耕およびマイグ レーションサービスの伸長による 売上の増加
流 通 業 (構 成 比)	2,578 (5.2%)	<b>2,456</b> <b>(4.7%)</b>	▲121	▲4.7%	
官 公 庁 (構 成 比)	2,881 (5.8%)	<b>3,095</b> <b>(6.0%)</b>	+213	+7.4%	【官公庁】 自社製品SmartSESAMEの 官公庁・自治体向けビジネス 拡大による売上の増加
そ の 他 (構 成 比)	4,541 (9.1%)	<b>5,046</b> <b>(9.8%)</b>	+505	+11.1%	
合 計	49,810	<b>51,868</b>	+2,057	+4.1%	

# 連結貸借対照表 期首との比較

(単位：百万円)



# 業績ハイライト（全体概要）

## 売上高 51,868百万円（前年比+2,057百万円）

### ◆ デジタルインダストリー事業 (+854百万円)

- ・スマートファクトリー事業は前年比微増
- ・組立製造業向けシステム開発や製品開発支援サービスが堅調に推移
- ・中部・西日本地区におけるシステム開発が伸長

### ◆ サービスインテグレーション事業 (+1,203百万円)

- ・セキュリティサービス事業は概ね計画通り伸長
- ・公共分野を中心にシステム開発とICTインフラ構築サービスなどICTサービス全般が伸長
- ・マイグレーションサービスが伸長

## 営業利益 5,933百万円（前年比+1,002百万円）

- ・収益性の高い商談の獲得増加
- ・生産性向上による利益増
- ・一部の開発商談において不採算案件が発生

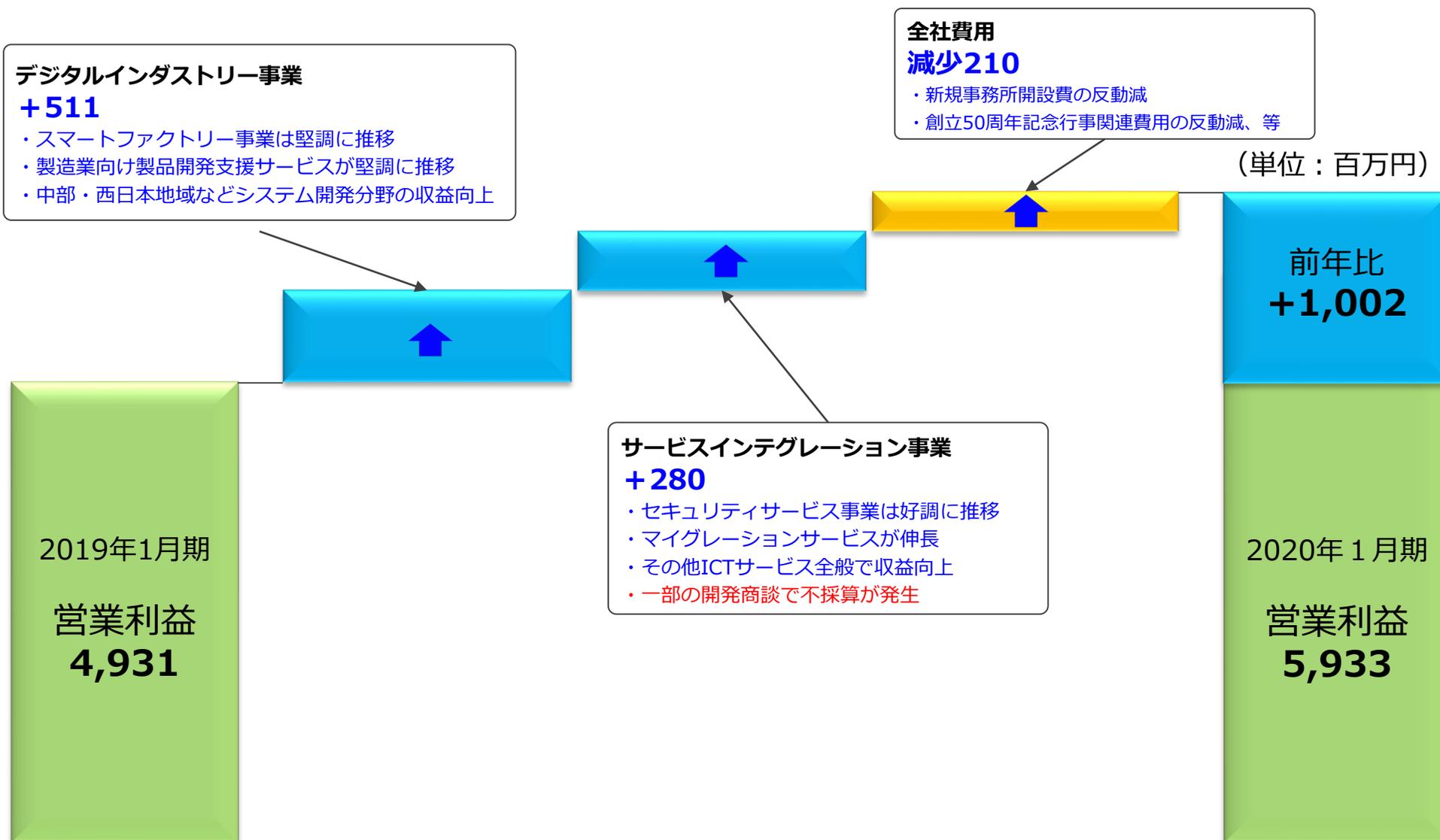
## 経常利益 6,045百万円（前年比+1,004百万円）

- ・営業利益の増加に伴う利益増

## 当期純利益 3,638百万円（前年比+777百万円）

- ・経常利益増加に伴う利益増
- ・特別調査委員会の費用等（特別損失）
- ・不採算関連費用（特別損失）

# 連結営業利益の主な増減要因



# 2つの注力事業の事業概況

## スマートファクトリー 事業

製造業ではIT投資が活性化も、米中貿易摩擦など外部要因による経営環境の悪化で、一部の顧客において抑制傾向が強まる。このような情勢のなか、事業全体は前年比微増で推移するも、主力製品の次期バージョン市場投入遅延などの影響もあり計画値未達

## セキュリティサービス 事業

自社製品のSmartSESAMEシリーズは、官公庁・自治体向けが好調。CEC SOC関連はコンサルティングから構築、運用、監視まで、セキュリティサービスのフルサポート提供を強みに伸長、事業全体では概ね計画通りに推移

	2019年1月期 実績	2020年1月期 目標	2020年1月期 実績	前年比 増減額	目標 達成率
スマートファクトリー事業	30.0億円	38.0億円	<b>31.2億円</b>	<b>+1.2億円</b>	<b>82.3%</b>
セキュリティサービス事業	29.0億円	38.0億円	<b>37.0億円</b>	<b>+8.0億円</b>	<b>97.4%</b>
合計	59.1億円	76.0億円	<b>68.2億円</b>	<b>+9.2億円</b>	<b>89.8%</b>

# 5つの経営施策

## ■ 際立つ企業となるため、次の施策を実施

働き方改革 職場環境改善継続	<ul style="list-style-type: none"><li>・平均残業時間 20.2時間/月（前年比 1.4時間減）</li><li>・有給休暇取得率 77%（前年比 +2%）見込み</li></ul>	○
従業員待遇の 継続的な改善	<ul style="list-style-type: none"><li>・平均年収の向上 624万円/年 見込み（前年比 +7万円）</li><li>・ベースアップの実施</li></ul>	○
主要顧客に対する 徹底した取引拡大	<ul style="list-style-type: none"><li>・主要顧客グループ 20社の売上構成比（前年比 +4.6%）</li></ul>	○
注力事業を 徹底して伸ばす	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業規模拡大も目標値の達成率は89.8%</li></ul>	△
トラブルプロジェクト 発生を未然防止	<ul style="list-style-type: none"><li>・システム開発において、一部に不採算案件が発生</li></ul>	×



**2021年1月期**  
505J在J月期

**業績見通し**  
差増百通し

# 中期経営計画の最終年度目標値（2021年1月期）

- DX推進や技術者不足を背景に、ICT需要は継続するものの、新型コロナウイルスの感染拡大により、国内外の経済活動は停滞懸念
- 国内外の情勢を鑑み、目標の売上高を下方修正も、継続的な事業効率改善と前年度の不採算解消により、経常利益は目標値を上方修正
- 注力事業においては、FA関連各社の事業環境悪化を考慮し、スマートファクトリー事業の目標値を下方修正

## 修正前

【業績目標】

売上高 **545** 億円

経常利益 **55** 億円

【注力事業：売上高】

スマート  
ファクトリー事業 **50** 億円

セキュリティ  
サービス事業 **50** 億円

## 修正後

【業績目標】

売上高 **530** 億円

経常利益 **62** 億円

【注力事業：売上高】

スマート  
ファクトリー事業 **32** 億円

セキュリティ  
サービス事業 **50** 億円

# 業績予想

(単位：百万円)

	2020年 1月期実績	2021年1月期予想		
			増減額	増減率
売上高	51,868	<b>53,000</b>	+1,131	+2.2%
営業利益	5,933	<b>6,100</b>	+166	+2.8%
営業利益率	11.4%	<b>11.5%</b>	(+0.1%)	—
経常利益	6,045	<b>6,200</b>	+154	+2.6%
経常利益率	11.7%	<b>11.7%</b>	(+0.0%)	—
当期純利益	3,638	<b>4,200</b>	+561	+15.4%
当期純利益率	7.0%	<b>7.9%</b>	(+0.9%)	—

## 業績予想のポイント

### 【売上高】

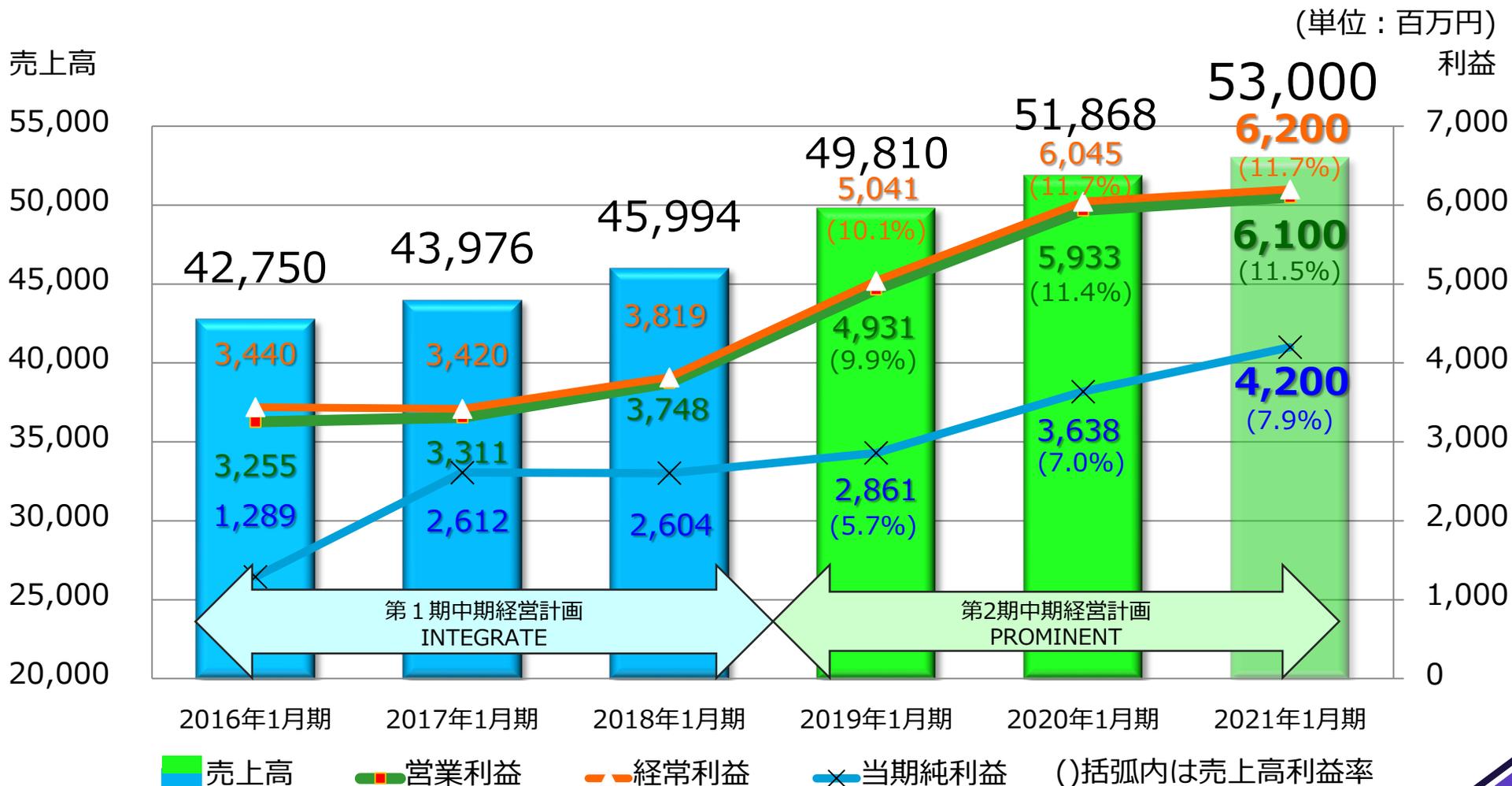
目標値 **530**億円(+11.3億)  
 全産業におけるDX推進や働き方改革推進に伴うICT投資の拡大は継続を予想も、新型肺炎の感染拡大による国内外の経済活動停滞に懸念。

### 【経常利益】

目標値 **62**億円(+1.5億)  
 注力事業を中心に自社製品サービスの売上拡大を見込む。売上高前年比11億円増に伴う利益の増加に加え、前年度発生の不採算案件解消に伴う利益の反動増も想定。継続的な生産効率および生産品質の向上策も貢献。

# 業績予想の売上高・各利益の過去比較

## ■ 連続増収増益を見込む、各利益は過去最高益更新を予定



# 事業セグメント別業績予想

(単位：百万円)

	2020年1月期	2021年1月期	増減額	事業セグメント別 業績予想のポイント
	売上高 (営業利益)	売上高 (営業利益)	売上高 (営業利益)	
デジタル インダストリー事業	17,437 (3,818)	<b>17,740</b> <b>(3,900)</b>	<b>+302</b> <b>(+81)</b>	【DI事業】 製造業を取り巻く環境は 先行き不透明で予断を許 さないものの、生産性向 上や労働者不足対策向け のICT投資継続を予想。
サービス インテグレーション事業	34,430 (5,447)	<b>35,260</b> <b>(5,700)</b>	<b>+829</b> <b>(+252)</b>	
全社費用	(▲3,332)	(▲ <b>3,500</b> )	(▲ <b>167</b> )	【SI事業】 DX推進や働き方改革など 、ICTを駆使したデジタル 社会への移行にあたり、 セキュリティをはじめと する各種サービスの需要 増加を予想。
合計	51,868 (5,933)	<b>53,000</b> <b>(6,100)</b>	<b>+1,131</b> <b>(+166)</b>	

	2020年1月期 売上高実績	2021年1月期 売上高予想	増減額	増減率
デジタルインダストリー事業	174.3億円	177.4億円	+3.0億円	+1.7%
内、スマートファクトリー事業	31.2億円	31.5億円	+0.3億円	+0.7%

## ■ 事業を取り巻く環境

- 新型肺炎の感染拡大が企業のIT投資動向に影響の懸念
- 米中貿易摩擦の影響で、主要FA関連メーカーの対外輸出減少による業績悪化
- DX推進に加え、生産性改善や技能伝承など製造業の課題は多く、一時的に減速の可能性はあるものの、IT投資の拡大は続く

## ■ 注力事業の見通し（スマートファクトリー事業）

- 製造現場では海外からの部品供給網に混乱が生じるなど、今後の新型肺炎による影響範囲が不透明なため昨年並みを想定
- 新製品サービスの拡販に注力
  - ◆ EdaGlass：スマートグラスを活用して、作業者の遠隔作業や熟練技能の伝承・教育を支援
  - ◆ VisualFactory V2：工場IoTデータ可視化システムの新バージョン展開

# サービスインテグレーション事業

	2020年1月期 売上高実績	2021年1月期 売上高予想	増減額	増減率
サービスインテグレーション事業	344.3億円	352.6億円	+8.2億円	+2.4%
内、セキュリティサービス事業	37.0億円	50.0億円	+13.0億円	+35.1%

## ■ 事業を取り巻く環境

- DXや働き方改革の推進に伴い、急速に社会のデジタル化が進むなか、企業のICT強化が必須も、技術者が不足
- 新型肺炎やオリ・パラ対策など、テレワークやクラウドサービスの需要拡大
- 海外グループ会社(CEC上海)は新型肺炎の影響で事業活動が低下懸念

## ■ 注力事業の見通し（セキュリティサービス事業）

- コンサルティングから構築、運用、監視まで、フルサポートサービスの提供が可能な 当社の強みを活かし、セキュリティサービス事業全般の拡大を目指す
- 自社製品のSmartSESAMEシリーズは全国のパートナー販売網を基盤に、官公庁・自治体 向けにサービスを拡大

## 【ご注意】

2021年1月期の業績予想については、今後、新型コロナウイルスの感染拡大による経済環境の予期せぬ変化や事業環境の変化、金融市場の混乱などにより変動する可能性があります



# Shape your future

[お問合せ先]

株式会社シーイーシー

企画部 IR担当 03-5789-2442

経理部 IR担当 046-252-4111

- 本資料は、投資を勧誘する事を目的として作成されたものではありません。
- また、本資料に記載しております将来の業績に関する見通しは、日本経済や情報サービス産業の動向、その他現時点で入手可能な情報による判断及び仮定により、算出しております。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、変動する可能性がある事をご承知おきください。